

荒尾市との共同提案が脱炭素先行地域 第7回公募に選定

2026年2月13日
有明エナジー株式会社

有明エナジー株式会社（代表取締役 久保宏幸、以下「当社」）は、環境省の脱炭素先行地域 第7回公募に荒尾市の共同提案者として参画し、本日、荒尾市が脱炭素先行地域に選定されました。

荒尾市における脱炭素先行地域の計画では、「エネルギーからにぎわいを生み出す 快適未来都市あらお ～石炭のまちから新エネルギーのまちへ～」をテーマとして、競馬場跡地の再開発による新たな賑わい創出を目指す「あらお海陽スマートタウン」において脱炭素×まちづくりの新たなスキームを構築します。

脱炭素先行地域とは、2030年までに、民生部門（家庭部門および業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出量実質ゼロの実現を目指す地域であり、全国に脱炭素の取り組みを広げるためのモデルとなる地域です。地域の特性に合わせた脱炭素社会の実現と、地域の魅力と暮らしの質の向上を目指すとされています。最終の募集となった第7回公募には39の地方公共団体から18件の提案があり、うち12件が選定されました。

■荒尾市における脱炭素先行地域の計画概要

<テーマ>

エネルギーからにぎわいを生み出す 快適未来都市あらお
～石炭のまちから新エネルギーのまちへ～

<概要>

基幹産業である石炭産業の停滞等を背景に変革期を迎える中心市街地において、競馬場跡地の再開発により新たな賑わい創出を目指す「あらお海陽スマートタウン」では、「地域再生エリアマネジメント負担金制度」（内閣府）を活用し、脱炭素×まちづくりの新たなスキームを構築。地域エネルギー会社の収益も活用し活動費を拡大する等し、エリアの魅力向上につながる取組を官民連携で推進。また地域エネルギー会社が、県・地域金融機関等と連携しながら事業拡大していく中で地域貢献の担い手として取組を進める姿をマニュアル化し示すとともに、県域における地域エネルギー会社の在り方についても検討することを目指す。

<共同提案者>

有明エナジー株式会社、株式会社肥後銀行、株式会社有明グリーンエネルギー